

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える! 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	
新任者・退任者挨拶	



飯豊連峰の麓、ブナの巨木が立ち並ぶ美しい森。
森の香りや木漏れ日が、心と体を癒やしてくれる
森林セラピーの効果を感じることができます。

ぬくみだい
温身平風致探勝林 (山形県西置賜郡小国町) [提供: 置賜森林管理署]

森は海の恋人～海に見える造林地より～

青森森林管理署

6月、本州最北の地・青森にも、スギの植付けの時期が到来し、陸奥湾を眼下に3万本のスギコンテナ苗が尻高川国有林に根を張ることとなりました。

青森県の森林面積は約65%、三方を海で囲まれ、農林水産業が盛んな地域であり、その恵まれた自然環境のもと、山の樹木を使い、田んぼで米を作り、そして海で魚介などを収穫・活用し、生活の糧に今日までの歴史をはぐくんできました。生活様式の変化はあるにしても山から海へ繋がる一連の流れに大きな変化はないのでしょうか。

今でこそ山に木を植えることが、土砂の流出を食い止め、水を浄化し、海を豊かにすることの研究や調査がされていますが、先人たちは感覚的に知っていたのかもしれませんが。そして、これが「森は海の恋人」と言われる所以だそうです。

今年度、当署管内では、17万6,450本の植付けと252.30haの下刈を予定しています。整然と植えられたスギコンテナ苗の健やかな成長と、この地から海までの幾多の営みがこれまで同様に絶えることなく続いていくことを願い、木を伐ったら植えるそして育てていきます。今宵「森は海の恋人」を思いながら食べる陸奥湾のホタテは、山の味がほのかにするかもしれません。



植林箇所から望む陸奥湾

資源を無駄にしない取組

下北森林管理署

これまで木材の生産現場では、林地残材と呼ばれる丸太にならなかった末木枝条や、根元材が残されていました。しかし、近年では、昨今の木質バイオマス用材の需要の高まりを受け、林地残材をバイオマス用チップとして有効活用しようとする事業者の取組が始まっています。

生産を手がける事業者では、チップ生産のため、これまでの作業方法を見直し、立木はなるべく地際から伐採する、先端の方は枝をつけたまま集積するなど、チップ用材として効率的に活用できるように工夫をしています。また、立木を地際から伐採するため、切り株もほとんどなく、林地残材も少なくなることで、更新※にかかる地拵え作業の効率化が図られています。



チップパーによるチップ生産の様子

チップの生産は、ほかの事業者からの受け入れも含め1日にトラック5台分は処理できるとし、地域の伐採跡地では林地残材が少なくなってきました。

資源を無駄なく有効利用しつつ、更新作業の低コスト化に繋げていくことが実現され、当署としても、このことが下北全域に広がるよう取り組んでいきます。

※木の伐採後、植林や自然の力により新しい林とすること。

国有林における境界の保全

仙台森林管理署

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び津波により当署管内の海岸防災林は壊滅的な被害を受けましたが、併せて国有林の境界標識もその多くが亡失するなど大きな被害を受けました。

境界標識の復元については、平成24年から実態調査（境界検測予備調査）、復元作業（境界検測）を始め、令和2年度に全ての復元が完了しました（延長約78km、復元標識約1,800点）。

復元の計画策定や作業に当たっては、隣接者の調査はもちろん、東北森林管理局海岸防災林復旧対策室による盛土造成事業や他省庁、宮城県及び関係市町による復旧事業との調整を図りながら対応しました。

地震、津波が発生してから10年以上が経過し、海岸防災林周辺も災害復旧を経て新たな区画整理事業が始まるなど、国有林隣接地の状況も変わってきています。今後も、土地の利用形態など周辺の状況に注意し、境界の巡回回数を調整しながら境界管理業務を行っていきます。

最後に、この度の境界標識復元にあたり、ご尽力、ご協力いただいた関係者の皆様に感謝を申し上げます。



海岸に設置した境界標識

ニホンジカの被害対策の取組について

宮城北部森林管理署

当署管内沿岸部では、ニホンジカの生息密度の高い地域があり、農林業被害が顕著であることから、ニホンジカ被害対策の取組を継続的に実施しています。

その方法は、造林地の保護のための防鹿柵の設置、造林木へのシカ食害対策剤の散布及び保護管による造林木の単管防除の3つです。以前は防鹿柵を積極的に設置していましたが、コストと維持管理の関係から、近年は新たに設置することはなくなり、シカ食害対策剤の取組が増えています。



造林木を保護管で一本ずつ囲んで防除

一方、物理的な防除とは別に、ニホンジカの個体数削減のために、地域の関係機関と協定を結び、くくりわなの貸し出しを行い、ニホンジカ捕獲の支援を行っています。

管内沿岸部でのニホンジカの生息数は依然として高い状態が続いており、一部地域ではディアライン（鹿摂食線）※が観察されているところもあることから、今後も物理的な防除と、地域の協議会を通じて、宮城県、市町村及び猟友会と連携したニホンジカ被害対策を引き続き実施していきます。

※シカの口が届く高さ2m内の枝葉がほぼ食べられ、口が届かない高さとの間にできる境界線のこと。

松枯れから海岸林を守る

由利森林管理署

当署における令和4年度の治山事業は、谷止治山工事等5件、調査設計関係3件、保安林整備事業約11ha等を計画し、契約後順次進めています。

管内には約400haのクロマツを主体とした海岸林が広がり、市民の散歩等の憩いの場となっているほか、飛砂防備保安林として地域の生活を守る、重大な役割を担っています。

こうした中、当地域の海岸林も、他の地域と同様に松くい虫被害が続いており、昭和58年に松くい虫被害が発見されて以降、その防除・再生に取り組んでいます。

今年度も松くい虫を媒介するマツノマダラカミキリ駆除のため、昨年度より15%増の約154haに薬剤散布を行い、また被害となった立木の伐倒破砕処理については、昨年度の60倍となる約3千本を実行しています。



カミキリ駆除の薬剤散布の様子

当地域においても被害の拡大化傾向が見られることから、国土交通省、秋田県、由利本荘市、にかほ市及びJR東日本と松くい虫一斉防除のための連絡調整会議を行いながら、地域全体の松枯れ防止対策に取り組んでいるところです。

森林環境教育～松ぼっくりの炭づくりに挑戦～

三陸北部森林管理署久慈支署

当支署では、森林環境教育の取組として、地元地域の小・中学校及び地域の各団体からの要請により、フィールドの提供や職員の派遣等を通じて森林環境教育に取り組んでいます。

令和4年5月27日には、洋野町、県北広域振興局と連携し、洋野町向田小学校の全校児童(23名)を対象に、低学年は自然観察会・木工製作、高学年は炭づくり体験を実施しました。具体的には、学校周辺の樹木や植生等に隠した動植物の写真をを見つける「フィールドビンゴ」を行い、その後、木製ティッシュケース作りも体験しました。また、同町などで生産される高品質の「岩手木炭」の理解を深める目的で、松ぼっくりの炭づくりに挑戦しました。



松ぼっくりの炭づくり

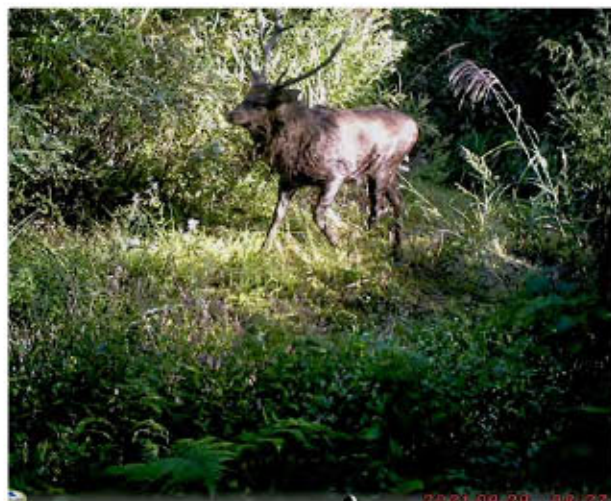
今回の体験では、「ミズナラの木が想像以上に大きくなることに驚いた」、「松ぼっくりはきれいに炭になっていたけど、大きな野菜は水分が抜けて半分くらいの小さな炭になっていた驚いた」など関心を示す児童が多くいました。

当支署は、今後も森林学習会等を通じて地元地域の小・中学校や各団体との交流を継続して行っていきます。

牛糞でニホンジカ誘引作戦！

津軽白神森林生態系保全センター

当センターでは、世界自然遺産・白神山地の生態系に影響を及ぼす可能性が危惧されているニホンジカ対策のため、自動撮影カメラを設置して越冬場所把握などの活動をしています。



深浦町でカメラが捉えたニホンジカ

そして、さらに白神山地の植生にも深刻な影響を与える可能性のあるニホンジカの効率的な誘引・捕獲対策を検討するため、ニホンジカをおびき寄せる方法として、牛糞による誘引試験を実施しています。今回の試験は、長野県においてニホンジカが牛糞に含まれる塩分やミネラルを求めて糞汁をなめにくるという事例を参考に、当地域でも牛糞でニホンジカを効率的に誘引できないか実証試験を行っているものです。なお、牛糞の提供と運搬については、深浦町役場の協力を得て実施しました。

この手法によりニホンジカの誘引効果が確認できれば、それを足がかりにして、捕獲に向けた対策を検討していくこととなります。

なお、3月に開始してから4月末までの結果については、牛糞前に設置したセンサーカメラにニホンジカを確認することはできませんでしたが、継続して調査を実施していきます。

栗駒自然休養林を楽しんでもらうために

秋田森林管理署湯沢支署

林野庁では、国民の皆様が森林に親しんでいただけのように、全国の国有林の中に「レクリエーションの森」を整備しています。

当支署管内の、栗駒山（標高1,626m）周辺の国有林は森林を主体とした風景に勝れ、春には高山植物が咲き誇り、秋の紅葉が美しく、県内外から多くの観光客が訪れます。

またこの国有林は自然休養の場として、登山、ハイキング、キャンプ、温泉浴等の利用に供されていることから、レクリエーションの森「栗駒自然休養林」に設定されています。

栗駒自然休養林の管理にあたっては、地元・東成瀬村と自然休養林保護管理協議会を設置、また関係機関と連携しながら取り組んでおります。

コロナ禍の影響等で最近では実施が見送られるものがありますが、春先のタケノコ採りの時期には入山者が迷いやすいエリアに入山禁止ロープと注意を促す啓発看板の設置、夏山シーズンには栗駒山周辺の高山植物盗採防止パトロールを実施するなど連携した取組をしています。



今年度の東成瀬村役場との啓発看板設置状況

今後も、地域の皆様と連携して、自然休養の場としての国有林を安全に楽しんでいただけるよう、管理経営に努めていきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

秋田県大館市

米代東部森林管理署

大館市は秋田県北部に位置し、市の北境で青森県と接しています。日本犬で最初の天然記念物「秋田犬」は、大館が主な原産地となっています。市内には秋田犬やハチ公が描かれたものが見られるところで見られます。大館駅前にある「秋田犬の里」は、秋田犬について学べ、秋田犬を見られる展示室があります。大きな秋田犬がトレーナーと遊ぶ様子などを間近で見ることができます。また敷地内には「忠犬ハチ公像」、旧小坂鉄道の線路を利用した「手こぎトロッコ」、渋谷駅前から移設された車両「青ガエル」が設置されています。



秋田犬の里

大館市の歴史的建造物の一つに「桜櫓館」があります。市街地では数少ない昭和初期の木造建築として存在し、平成11年に国の有形文化財に登録されました。建物の特徴は2階の屋根に突き出るように四方にガラス窓を配した、屋上展望台を作ったことにあります。他にも長尺の長押し、鴨居、軒桁等全て天然秋田杉が使われています。



桜櫓館

矢立峠は白神山地の東方に位置し、一帯は国有林です。天然秋田杉の美林に囲まれ、付近には複数の温泉が湧き出ています。樹齢200年以上の天然秋田杉の中を巡る遊歩道の途中には、旧羽州街道の面影を感じさせる標柱や一里塚跡などもあります。



矢立峠遊歩道

例年6月中旬に開催する「大館バラまつり」の会場になる「石田ローズガーデン」は、通年で園内の見学ができます。入口の門を通り過ぎれば多種多様なバラに囲まれ、バラの香りに包まれます。バラの品種ごとに咲くタイミングが違い、訪れる日によって異なった雰囲気を楽しめます。令和4年4月に園内にカフェレストランがオープンし、庭園を眺めながら食事や休憩を楽しめます。



石田ローズガーデンとカフェ

お問合せ先：大館市役所観光課観光振興係 Tel. 0186-43-7072

国有林野所在市町村の魅力紹介

山形県鶴岡市

庄内森林管理署

鶴岡市は、山形県の庄内地方南部に位置する人口約12万人の都市です（山形県第2位）。鶴ヶ岡城周辺（現鶴岡公園）の中心市街地は、江戸時代には鶴岡藩（通称：庄内藩）の城下町として栄えた歴史ある街です。



大正4年に建設された疑洋風建築の大宝館

自然休養林に指定されている高館山（標高274m）は、日本海の加茂海岸に近い庄内平野に位置しています。山麓には人工池の上池・下池（2008年ラムサール条約登録）を有し、山頂からは日本海、海岸砂防林、庄内平野、遠くには、出羽三山、朝日連峰等を一望することができます。市街地に近いことからウォーキング等で市民に親しまれています。



高館山と下池

そして、鶴岡市は、歴史と文化、海と食にあふれた街、紹介しきれない程の神社仏閣、記念館、温泉等が多数あります。

近年では、山形県内唯一の水族館であり、クラゲの展示種類世界一（60種類以上）を誇る「鶴岡市立加茂水族館」が人気です。色とりどりの様々なクラゲが漂う様子はとて



色とりどりの幻想的なクラゲ

も魅惑的です。

また、近隣市町も含め、市内には多数のラーメン屋が存在し、中華そばを求め、平日では100人以上（休日は500人以上）の大行列を作ることも珍しくない店があるほどです。

なお、鶴岡市は、今では広く浸透しているサーフィン（波乗り）、ブリッジバンジージャンプ、学校給食などの発祥の地だとも言われています。



行列のできるラーメン

お問合せ先：鶴岡市観光案内所 Tel. 023-25-7678

東北森林管理局では、国有林野を管理経営するために東北5県の17森林計画区別に地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画を策定しています。

★地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画とは？

地域管理経営計画は、森林管理局長が森林計画区ごとに国有林野の管理経営に関する基本的な事項を定めた5年を一期とする計画です。

また、国有林野施業実施計画は、個々の森林の管理経営及び森林施業について規定する計画で、具体的な伐採、造林等の箇所や量を定めます。

令和4年度は、北上川中流（岩手県）、米代川（秋田県）、庄内（山形県）の3森林計画区において、策定します。



★計画で定めていること

(1) どんな森林をどのように手を入れるか？



天然秋田杉

例えば、米代川計画区には、日本三大美林の1つである天然秋田杉が見られます。また、管内で有数の人工林資源も有しています。このため、天然秋田杉の森林で保護を重視して伐採を計画しません。反対に人工林では150年という超長期間で伐採を計画します。

(2) 特に保護を図るべき森林はどこか？



シカの食害対策のためのネット設置

自然環境の維持や、野生生物の保護、遺伝資源の保護等を目的として保護林を計画します。例えば、北上川中流森林計画区の早池峰山周辺に約3.5千haの森林については、生態系保護地域という保護林の設定を計画します。

(3) 社会貢献活動は誰が行うか？



フィールドを活用した植樹活動

国有林のフィールドを協定締結の上で活用して行う、社会貢献活動としての森林づくりについて、NPO、法人等の実施主体や実施箇所などを明らかにして計画します。

使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

豪雨等による 林道災害への支援

近年は各地で記録的な豪雨が頻発し、これに伴い林道災害も多発しています。こうした状況から、東北森林管理局では国有林林道の災害復旧に加え、民有林林道の災害支援に取り組んでいます。

令和元年10月には、台風19号に伴う豪雨により宮城県内全域において林道が甚大な被害を受けました。当局では、宮城県からの支援要請を受け、「林道施設災害技術支援チーム」を登米市及び南三陸町へ派遣し、17路線、59箇所 of 災害復旧申請に係る調査・設計等の支援を行いました。

また、本年7月には、宮城県を中心に降り続いた記録的豪雨により、宮城県大崎市では名蓋川の決壊をはじめ、市街地や田畑の冠水、および公道への土砂崩れ等の被害が多数発生しました。

この豪雨により大崎市内の民有林林道においても多数の被害が確認されたため、現地確認を含めた林道の被害状況調査について、大崎市から職員の派遣要請を受け、災害支援として当局森林整備課職員3名を派遣しました。

被害状況調査は、7月19日～21日までの3日間で3つの地域において計10路線、14箇所の被災した林道を調査し、復旧方法の提案、被害額の算定、調査手法等について担当職員の方にアドバイスをしております。



令和4年7月豪雨における被害状況調査

これから台風シーズンとなり、上述したような災害が発生することも想定されます。各自治体からのご相談は最寄りの森林管理署等にて承ります。

各自治体でお困りの際は最寄りの森林管理署等
(連絡先は裏表紙に記載)へご相談ください。

シカとカモシカの目撃情報を 集めています

東北地方でもニホンジカ(以下、シカ)が増えて生息域を広げています。農林業被害を防ぐための効率的なシカの捕獲を進める上で、私たちはシカの集まる越冬地を突き止めることが重要と考え、秋田県林業研究研修センターや東北森林管理局と協力し、シカの越冬地を探しています。

「シカ情報マップ」は、シカの目撃情報(交通事故や捕獲も含む)を集積して生息域や繁殖状況を把握し、対策に活かすことを目的に開発した市民参加型の目撃情報集積Webサイトです。シカは夏の間はどこにいて、冬にはどこへ移動するのか、様々な情報を組み合わせることで、越冬地の予測が可能になります。また、シカが増えすぎるとカモシカにも影響が及ぶため、このサイトはカモシカの情報も集積できるようにアップデートされました((株)マップクエスト、愛知県森林・林業技術センター、及び(国研)森林研究・整備機構による共同開発)。

スマホで右下のQRコードを読み込めば、すぐにサイトに入れ、どなたでも、目撃情報の登録と、集積された情報の閲覧ができます。目撃現場でこのサイトを開けば、日時と位置は自動で入力されますので、目撃した動物(シカ、カモシカ)、性別(オス、メス、不明)、生死の別を選ぶだけで、登録できます。皆さんがシカやカモシカに出会った際には、シカ情報マップに目撃情報登録への御協力をお願いいたします。



ご関心のある方は、森林総合研究所東北支所
(Tel.019-641-2150)へお問い合わせ下さい。

地域のこの人

女性が林業に携わって

小国町森林組合 田辺 樹生さん

小国町森林組合は、山形県の西南端、新潟県境に位置し、朝日連峰、飯豊連峰に抱かれた山間盆地にある森林組合です。

私の出身地は三重県ですが、高校は母にゆかりのある小国町の高校に入学しました。木工が好きで、どのような木を使えば良い家具が作れるか勉強したくて本県新庄市にある県立農林大学校に進学しました。勉強していくうちに、林業にはまり、令和2年に当森林組合へ就職しました。

組合に入って1年目は、山菜加工や組合が運営する木質チップ工場など、組織内の様々な仕事を経験しました。

現在はチェーンソーで木を伐り出したり、重機で細断したりする部門で働いています。男性との体力の違いがあって難しさを感じることもありますが、組合の先輩方に私のできない部分を助けていただいています。今後は、伐倒の際に正確かつ安全に自分の伐り出したい方向に倒せるよう技術を磨いていきたいです。

加えて、林業に携わる女性を増やしたいです。林業の現場に女性が入ることで、新たな視点での林業が見えてくるのではないかと考えています。これからも小国町の素晴らしい森林を保全できるように頑張ります。



チェーンソーを使っでの伐り出し

津軽のパワースポット

津軽森林管理署金木支署 喜良市森林事務所
首席森林官 富樫 定史さん

当事務所は、青森県の津軽半島の付け根「五所川原市」の北西部の国有林約8,200haを管轄しています。

管内の眺望山自然休養林のなかに「ばんじゅさん 県民の森」として親しまれている標高468mの梵珠山があり、五所川原市側から登る登山道は松倉ルートとしてハイカーがよく訪れます。この裏ルートには坂上田村麻呂にゆかりのある松倉神社があり、神仏混合の神社で松倉観音堂は津軽三十三観音霊場二十五番札所として知られており、近年では隠れたパワースポットとしてSNSでの投稿も見られるようになりました。



ブナ林の中を歩く

また、神社から山頂までのルートも整備されて歩きやすく、快適な登山が楽しめるようになっております。山頂から見渡す陸奥湾や津軽半島の眺望も素晴らしいので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

さて、私は東北森林管理局に勤務して約30年、主に林業経營業務に従事してきましたが、今は、森林官として、任された管内の自然の魅力を伝えることができ嬉しく思っております。皆様も自然のパワーを感じながらの仕事に従事してみませんか。

8月中旬

「山の日」記念「森と水の夏祭り」

8月11日(木)
山形県山辺町にある「県民の森」で森林ウォークラリー等を開催
(山形県・県民の森森林学習展示館)

めがね橋夜まつり

8月13日(土)
ライトアップした「めがね橋」を背に繰り広げられる郷土芸能の共演
(岩手県遠野市)

2022わたりふるさと夏まつり

8月15日(月)
わたりの夏を彩る花火大会「わたりふるさと夏まつり」
(宮城県・亘理町観光協会)

雲谷大文字焼き

8月16日(火)
この大文字焼きを見ると、青森の短い夏の終わりを感じます
(青森県青森市)

平泉大文字送り火

8月16日(火)
京都・東山になぞらえた東稲山に約100mの大の字が夜空に
(岩手県・(一社)平泉観光協会)

花輪ばやし

8月19日(金)～8月20日(土)
豪華絢爛な10台の屋台が、夜通し町を練り歩く行事
(秋田県鹿角市)

8月下旬

遠野ホップ収穫祭2022

8月20日(土)～8月21日(日)
日本随一のホップ生産地・遠野でビールと旬の食材が味わえます
(岩手県・遠野ホップ収穫祭実行委員会)

古道を行く 蔵王御山詣り2022

8月27日(土)
いにしへの道をたどり蔵王山頂で生まれ変わりを体験
(宮城県・蔵王古道の会)

第46回出光イーハトーブトライアル大会

8月27日(土)～8月28日(日)
バイクを操って難しい地形を走る競技、地域との絆も絶大です
(岩手県・テレビ岩手、Team Ihatove)

国立公園で楽しむ親子の自然体験

8月28日(日)
おかわりしたくなる！炭と七輪・土鍋での炊飯を体験
(岩手県・網張ビジターセンター)

下湯ダム「森と湖に親しむつどい」

8月31日(水)
森林や湖に親しんでいただくため、市内の小中学生が参加します
(青森県青森市)

真室川森林鉄道の歴史とあゆみ展

7月30日(土)～9月4日(日)
森林鉄道運行時の写真や模型の展示など
(山形県・真室川町教育委員会)

9月

ひらかわフェスタ

9月3日(土)～9月4日(日)
地場産品の販売やステージショーのほか、木工教室を開催
(青森県・ひらかわフェスタ実行委員会)

あじがさわ肉のフェスティバル

9月4日(日)
町内畜産物を使用した飲食物の提供、各種イベント
(青森県鰺ヶ沢町)

みやぎ蔵王梨まつり

9月4日(日)
宮城県内生産量1位、蔵王町特産の梨を生産農家が直接販売
(宮城県・みやぎ蔵王梨まつり実行委員会)

藤琴豊作踊り

9月8日(木)
県無形民俗文化財の藤琴豊作踊りが奉納されます
(秋田県藤里町)

キノコ観察会

9月10日(土)
岩手山の南麓にそそり立つ鞍掛山麓でキノコと親しくなろう
(岩手県滝沢市、滝沢市山岳協会)

鳥海高原まつり

9月上旬
鳥海山と庄内平野を眺めながらBQや魚のつかみどりのイベント
(山形県酒田市)

※掲載内容は、新型コロナ感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認ください。また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承ください。

新任7月1日付

仙台森林管理署長

竹中 篤史

前職：林野庁森林利用課海外森林資源情報分析官

初めての東北局勤務です。これまで北海道局(2回)、中部(名古屋)局、近畿中国局の勤務経験があります。職員の安全確保を第一に、コンプライアンスを遵守し、人材育成に取り組むとともに、自治体や民間事業者からの意見や提案に耳を傾け、地域にとって必要とされる国有林を目指します。



新任者・退任者挨拶

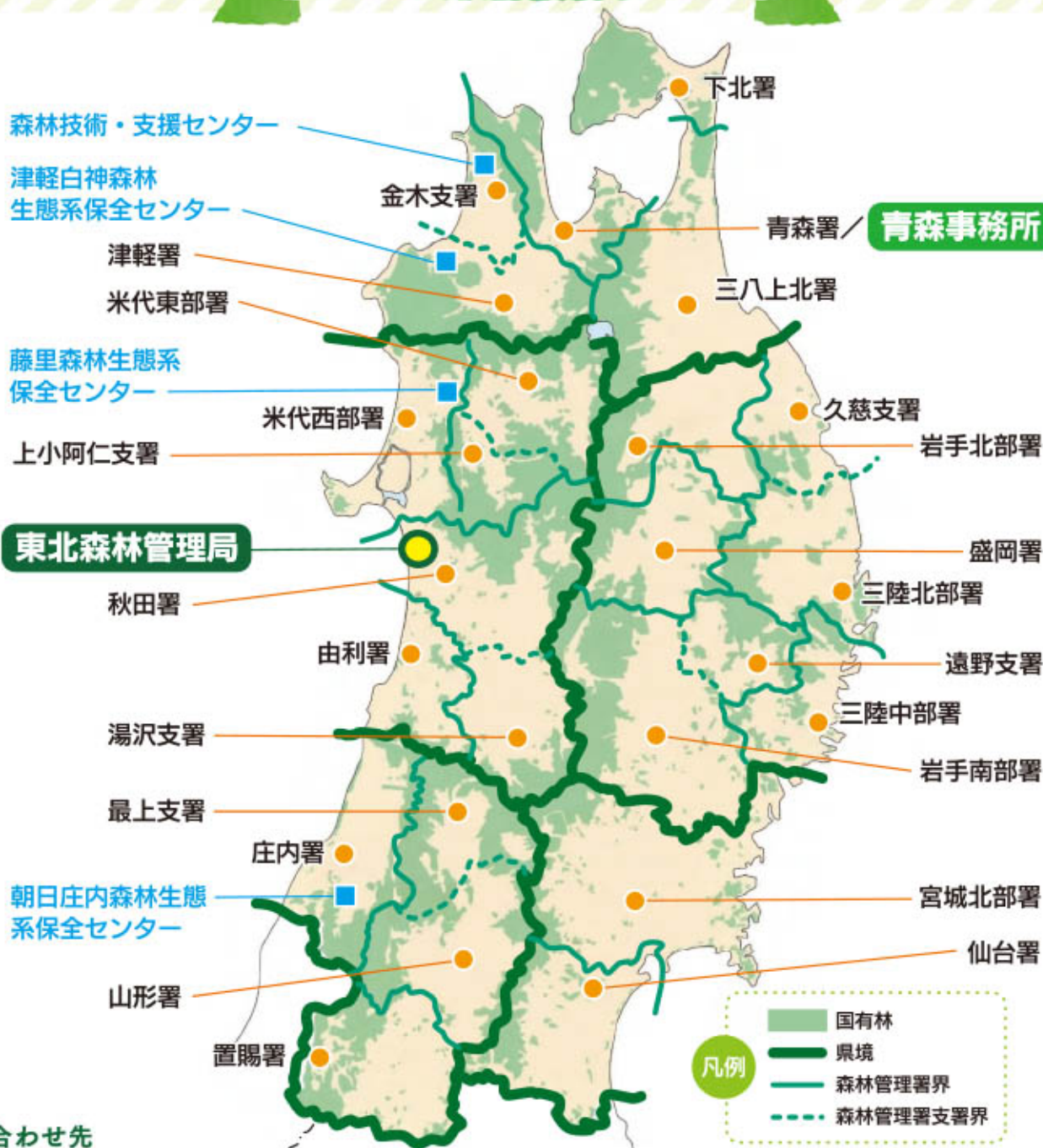
退任(退職)6月30日付

前仙台森林管理署長 清水 俊二

初めての現場は日高山脈の深い森でした。マレーシア、PNGの熱帯林と続き、沖縄山原の森、西表のマングローブ林、登山者多い東京高尾山、神奈川の屋根丹沢、箱根に欠かせない芦ノ湖西岸林、そして美林多い東北の森をみることができました。社会の基盤となっている仕事に触れることができ幸運でした。30余年大変ありがとうございました。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



問い合わせ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074	
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111	
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115		秋田県	米代東部署	大館市上代野字中込3-23	☎0186-50-6130
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131			上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131			米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3		☎018-882-2311		
津軽白神センター	西津軽郡津軽町大字瀬戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38		☎0183-73-2164		
岩手県	森林技術支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076		
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤里字大関湊24-3	☎0185-79-1003		
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331		
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161		
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川1200-11	☎0233-62-2122		
盛岡県	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246		
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730		
	遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670					

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.221

●発行日/令和4年8月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために製材材を積極的に使用しています。